

2023年度 第3回教育委員会議事録

日時 2023年9月1日(金) 10:30～17:00

会場 日本代協 会議室

出席者 石川委員長

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
北海道	上島	北東北	小向	南東北	赤城	上信越	中田
東関東	井上	南関東	鳥山	東京	雨宮	東海	市川
北陸	佐野	近畿	木村	阪神	渡辺	東中国	山田
西中国	近藤	四国	富永	九州北	甲山	九州南	中村

・オブザーブ小俣副会長 ・事務局坂常務、出口部長

<委員会要旨 確認・決定事項>

1. 損害保険大学課程の運営

- ・Webセミナーの司会部分にAIナレーションを使った動画を作成し、司会者の代替とすることを検討し、人員の削減につなげる。
- ・Webセミナーのスタッフは1名につき1～2ルームを担当する。1名で2ルーム担当する場合は、予備スタッフ1名の配置、事前レクチャの徹底、LINEグループ等、常時コミュニケーションが取れる体制の確保が必要。スタッフ初心者は1名につき1ルームの担当が望ましい。
- ・委員の交代が予定されている場合は、運営責任者としての教育準備のため、次期委員に対し、下期のWebセミナーにオブザーブし、実体験を積んでもらうことをすすめる。

2. 24年4月開講コンサルティングコース受講者募集目標

- ・全体受講者目標数840名は変更しない。各ブロックの目標数も前年どおり。各代協の目標はブロックにおいて調整することとした。

3. 「日本代協アカデミー」の展開

- ・24年度更新手続きにおいて、運営会社である日企から提案のあった受講料の「口座振替方式」については、討議の結果、事務が煩雑となることからネット口振ができるまで採用を見送る。

議 事

(進行) 石川委員長

(書記) 市川教育委員

1. 議事録作成者の指名 市川教育委員

2. 石川委員長挨拶

- ・今、業界を揺るがす問題が起きている中、教育という部分に関して当局にも問われることになるだろうと懸念している。
- ・今こそ職業倫理など基本に立ち返ったところから教育委員会が中心となって業界全体に教育インフラを浸透させていきたいと思っている。

3. 小俣副会長挨拶

- ・我々に対する消費者の目、会員からのご意見等あるかと思うが、しっかりと認識をして本日も有意義に一日討議していきたい。

4. 「損害保険大学課程」の運営

(1) 「損害保険大学課程」の歴史（小俣副会長）

- ・H23,24 年度の代協活動の現状と課題を遡って確認。
- ・H23 年度末、募集人が一挙に増えた(214 万人)。原因は金融機関の保険窓販、郵便局の自動車保険の解禁などで約2倍となる。
- ・そのような中、金融審議会で消費者団体の代表から「プロではない募集人を市場に出すな」と、厳しい指摘があった。損保協会、金融庁、代協としても放っておくわけにはいかないという流れとなった。
- ・もう一つは、損保協会の特級資格、日本代協で認定保険代理士と2つの資格が走っていることは、消費者からみてもわかりづらい、一本化が望ましいだろうという話があった。
- ・H18.3、金融審議会で損保協会が新たな難易度を引き上げる試験を打ち出したため、代協の認定保険代理士のポジションが失われる可能性が出てきた。
- ・H22.4、損保協会と合同研究会(検討部会)を立ち上げ、両制度の統合の可否が検討された。
- ・H23.5.18、損保協会から損保協会と代協の資格を一本化に向けた損害保険大学課程の新設の公表があった。
- ・各代協でセミナーの立ち合いなど苦労している面があるが、このような背景を理解いただき、組織委員など横のつながりも使いながら、ワンチームとして運営に携わっていただきたい。

(2) 合同運営会議報告（雨宮副委員長）

プログラム運営状況

- ・8月30日まで13回完了。出席推移の現状確認。概ね例年通り。
- TP 新規認定取得記念式典(合同運営会議資料2 参照)
- ・今年度も昨年同様オンライン形式
- ・新規取得者の代理店名・氏名をロール方式で流す予定
- ・式典、セミナーは「損害保険トータルプランナー専用ページ」にアーカイブとして掲載し、新規取得者以外の資格取得者でも視聴可能となる。本イベント情報は各自ブロックに持ち帰り共有してほしい。
- トータルプランナーセミナー司会部分のナレーション動画作成の提案
- ・運営側の負担を減らすため、共通部分において自動 AI 音声を活用
- ・日本代協としてナレーターA1を推薦。見積金額 115,500 円（修正対応 16,500 円）

(3) Web セミナー実施状況

2 回目 Web セミナーの日程確認(11/11~2/8)

運営上の課題共有

- ・他ブロックを担当しても、問題なく運営でき、どのブロックも遜色ない。
- ・ルームの担当は、1名、1ルームが理想であるが、2ルームでも可能ではないか。
- ・リテラシ の問題で、初めての人は1ルームでなければきつい。
- ・1名2ルームで、問題児対策のため予備員1名を配置。司会補助も予備員として動ける。初めての方には、事前に時間を設けwebで説明。当日はLINEグループを使い、いつでも相談できる状況をつくらせている。
- ・3グループを1名のスタッフで対応するのはNG。
- ・基本的には1名あたり1~2ルームとし、2ルーム担当する場合には、初心者には事前に説明するなど、スタッフは役割をしっかりと理解した上で、当日予備のスタッフを1名配置し、LINEグループなどでいつ

でもコミュニケーションがとれる体制が必要。

- ・今期で任期が終わる委員は、来期の委員に運営責任者としての準備をしていただけるように、2回目のWebセミナーにオブザーブ参加いただくよう依頼してほしい。
- ・損保協会・保険会社社員にスタッフとして入ってもらう場合は、リアルタイムでコミュニケーションをとるためにLINEの共有など、運営に支障を来さない手段が必要になる。案があればダイレクトで共有していただきたい。良案があれば次回の合同運営会議で話をしたい。

(4) 24年4月開講コンサルティングコース受講者募集目標(資料P9参照)

募集目標数

- ・各ブロックとも目標数(案)が妥当と判断。昨年と同様の目標数とする。

募集推進方法について

- ・TNPなど、直資代理店に声掛けする。
- ・事務スタッフも受講している傾向にあるため、大型代理店に声かけする。
- ・保険会社社員に声かけし、未加入代理店に声かけを依頼する
- ・市内の地下鉄にTPの広告(ポスター)を掲示。代理店名、募集人名を掲載。(directで共有)
- ・各支部に目標数字を割り振ってLINEで共有。見込管理表を作る
- ・モーター代理店にもトータルプランナー資格を取ってもらうように案内。

その他

- ・ブロックに戻ったら各ブロック会長に、ブロックでの目標人数を伝えつつ、県での目標数字のすり合わせをしておく。
- ・進捗表に代協ごとに目標数を達成した日付を入れる。
- ・募集ツール(募集要項、ポスター、チラシ)について、今回の配布部数について、directで報告する。

5.「日本代協アカデミー」の展開

(1) 登録代理店数の共有(7月末/資料P14参照)

- ・秋田・富山・福岡は達成。増減数+76代理店
- ・5月末からの増え幅でいくと年度末達成できない状況にあるため、取組推進を強化していく。

(2) 好取組・疑問点・推進方法の共有

- ・昨年度申込みをしたが、今年度申込みがされていない代理店への依頼。
- ・県代協の理事に依頼。
- ・石川委員長のセミナー時に、実際のアカデミーの画面をスクリーンに映し設問をやった結果、関心をもってもらい、その場で登録していただける例もあった。
- ・組織委員会と一緒にセミナーを行い、登録推進を行っている。
- ・各支部にて30分ほどで教育委員が説明をする。
- ・支部毎に目標数字を割り振る。
- ・学ぶ文化を作るためにアカデミーのようなものが必要なことを前面に出して情宣する。
- ・セミナー前にアカデミー動画を流す。

(3) 24年度更新手続き(口座振替方式)について

- ・口座振替方式にした場合のタイムスケジュールを共有。
 - ・ネット口振は現状できない。
- <結論> ネット口振ができるようになるまで、口座振替方式は活用しない。

6. PTの状況: 各PTの検討状況・意見交換等

(1) アカデミー推進 PT

- ・管理者画面の問題について、受講記録の確認でパーセンテージしか出ないことの変更はかなりの費用負担となるため現状のままでいくしかない。(今後も壁になるので引き続き日企との打合せは必要)
- ・新規登録も重要だが、利用してもらうことも同じくらい重要。実際に利用している代理店からの話もなかなか聞けないのが現状。
- ・まずはポータルサイト内のツールやチラシ、新システムに合わせた動画などをうまく利用して、プレゼンしてほしい。推進していく中で、改善を図っていくので、各県で吸い上げて次回の委員会で意見を出してほしい。

(2) アカデミーコンテンツPT

24年度に以下の2つのコンテンツを検討中。

生保コンテンツ

- ・1年を通して2か月に1回、生保が苦手な募集人が抵抗感なく生保が提案できるようになる動画を作成したい。

損保コンテンツ

- ・ドラレコが付いていてスムーズな解決ができた、付いていなくてトラブルになった、などのドラレコを普及していくことを目的としたコンテンツの作成を考えていきたい。
 - ・「ドラレコがあったおかげで、スムーズに解決出来た。」、「ドラレコが付いていたせいで困った。」、「ドラレコがなかったので解決に時間がかかった。」等、各ブロックの教育委員長の経験談を報告してほしい。
- 来年度のコンテンツの決定は10月末までに企画書が必要。

(3) 新セミナーPT

- ・2024年について、Webで行うことが決定している。
- ・2025年以降についてもWeb開催予定だが、大都市圏においてはリアル、ハイブリット開催も視野に入れ検討してもいいのではという話が出ている。しかし、セミナー内容の質の均一化が図れるのであれば提言可能である旨の確認をし、現時点では実現可能性が低いと判断した。
- ・受講態度、2画面受講の判断や証明写真の映り方での受講をチャットで注意しても直らない。
- ・2回目以降のセミナーについて、ブロック合同で行うのはどうか(人員削減できる)。
- ・セミナースタッフへの日当支払いの口座確認はブロック事務局に依頼するとスムーズではないか。
- ・次回の損保協会との合同運営会議は11月20日。
- ・福岡では、トータルプランナーの認定者の情報収集など会員詳細情報を独自に収集している。

7. その他

(1) 大学連続講座講師候補者選定のお願い

- ・現在実施している東北大学、名古屋大学、琉球大学の担当のブロックに依頼

(2) 講師プレゼンテーションスキルアップ研修の開催

- ・大学講座講師を担うにあたり、本研修の受講が必須
- ・履修者は「日本代協認定講師」の肩書を使用することができる。

(次回開催)

2023年度 第4回委員会

2024年1月26日(金)10:30~17:00

以上